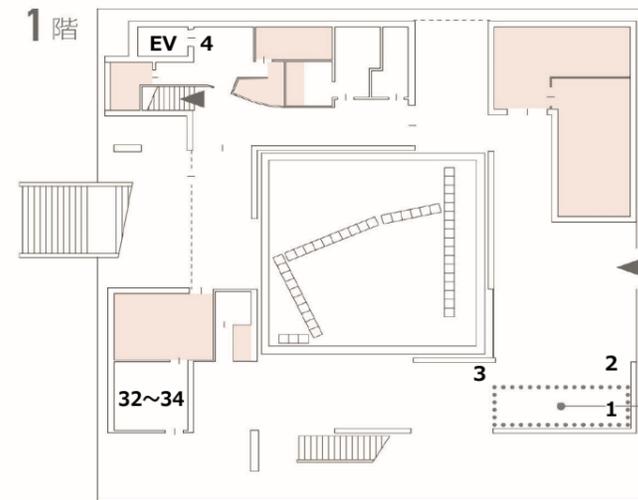
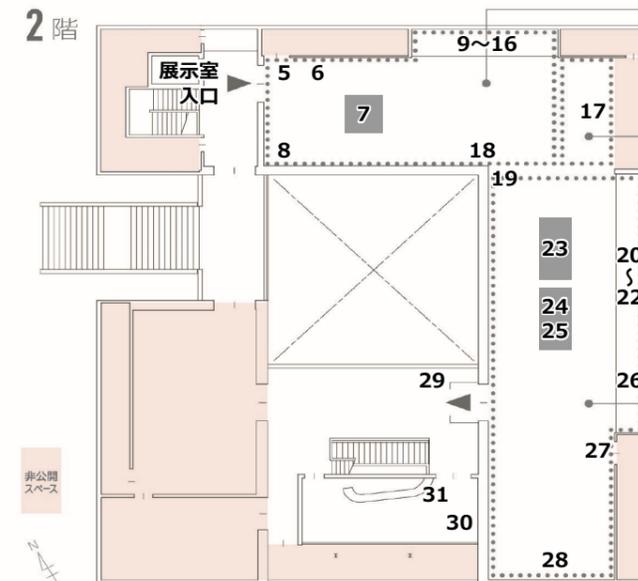


No	形式	資料名	制作 / 所蔵	* 当館蔵
A 「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」改修工事の概要				
1階	1	映像 3分30秒	再生される白い建物 改修工事の軌跡 2017-2019 ダイジェスト	* 制作：森内康博（株式会社 らくだスタジオ）
	2	★ 解説	大谷石積み壁の補強-1	*
	3	★ 解説	大谷石積み壁の補強-2	*
B 建築家・坂倉準三と「神奈川県立近代美術館 鎌倉」の誕生				
2階 展示室	4	★ 解説	エレベーター	*
	5	★ 解説	倉庫1	*
	6	★ 解説	ル・コルビュジエ、坂倉準三	*
	7	映像 2分30秒	鎌倉の往時の姿	*
	8	★ 解説	展示室内モルタル壁面	*
	9	書籍	「国際建築」第17巻第6号、1950年発行、美術出版社	個人蔵
	10	写真	コンペ提出図面／配置図	文化庁国立近代建築資料館蔵
	11	原寸複写	実施設計図面／展示室散光ルーバー	1:200, 1:50, 1:20, 1:1 1950年8月4日 文化庁国立近代建築資料館蔵
	12	原寸複写	実施設計図面／小屋組伏図	1:100 1950年10月4日、21日 文化庁国立近代建築資料館蔵
	13	原寸複写	実施設計図面／矩計図	1:20 1950年10月19日 文化庁国立近代建築資料館蔵
14	原寸複写	実施設計図面／アクソノメトリック図	文化庁国立近代建築資料館蔵	
15	原寸複写	実施設計図面／軸組図	1:100 1950年9月27日 文化庁国立近代建築資料館蔵	
16	原寸複写	実施設計図面／正面階段廻り一部詳細	1:20 1950年9月9日 文化庁国立近代建築資料館蔵	
C 「神奈川県立近代美術館 鎌倉」65年の声 1951-2016				
17	映像 12分	神奈川県立近代美術館 鎌倉 65年の声 1951-2016	* 制作：森内康博（株式会社 らくだスタジオ）	
18	模型	閉館時の「神奈川県立近代美術館 鎌倉」	*	
19	★ 解説	天井	*	
D 「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」改修工事の詳細				
外観				
20	実物	カラー復原決定色 塗装サンプル	*	
構造				
21	★ 解説	鉄骨立体トラス	*	
22	模型	「神奈川県立近代美術館 鎌倉」構造模型 (1/30)	製作：東京電機大学 今川研究所 所蔵：株式会社 TIS & PARTNERS	
23	実物	化粧ビス	*	
24	実物	蝶番	*	
25	実物	フロアヒンジ	*	
中庭				
26	実物	中庭玉砂利洗い出しサンプル	*	
27	★ 解説	倉庫2	*	
28	映像 3分	再生される白い建物 改修工事の軌跡 2017-2019 Part 1 屋根	* 制作：森内康博（株式会社 らくだスタジオ）	
	3分	Part 2 外壁-ボード	*	
	3分	Part 3 大谷石積み壁	*	
	3分	Part 4 ピロティ	*	
	3分	Part 5 中庭	*	
	3分	Part 6 展示室	*	
	3分	Part 7 新たな風景	*	
	3分	Part 7 新たな風景	*	
2階	29	★ 解説	外壁ボード（アルミ製ジョイナー）	*
	30	★ 解説	旧喫茶室-1	*
	31	★ 解説	旧喫茶室-2	*
1階	32	実物	大谷石	*
	33	実物	垂直ブレース	*
	34	★ 解説	ISGWI工法による耐震壁	*



展示ゾーン A

「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」改修工事の概要
「旧神奈川県立近代美術館 鎌倉」の改修・機能向上を図り、「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」を生み出す改修工事の様子を工事記録映像で紹介。この映像はダイジェスト版で、2階の展示ゾーンDで全編を視聴できる。



展示ゾーン B

建築家・坂倉準三と「神奈川県立近代美術館 鎌倉」の誕生
名建築として知られる「神奈川県立近代美術館 鎌倉」はどのように生まれたのか。設計者である坂倉準三の思想をル・コルビュジエとの師弟の絆から読み解くとともに、貴重な設計図や写真資料から往時の姿を蘇らせる。

展示ゾーン C

「神奈川県立近代美術館 鎌倉」65年の声 1951-2016
日本初の公立近代美術館として誕生し、輝かしい功績を残してきた「神奈川県立近代美術館 鎌倉」の活動の歩みを、作家、美術評論家、学芸員などの声をまじえて振り返る。

展示ゾーン D

「鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム」改修工事の詳細
文化的価値の高い建築を保存・活用しつつ、最新の技術によって耐震補強を施し機能を向上させた取り組みについて、記録映像、実物資料を用いて、改修工事の全貌を紹介する。

ア	アクソノメトリック図	立体を斜めから投影的に見た姿を表示する方法。
	大谷石	凝灰岩の一種で、宇都宮市北西部の大谷町付近一帯で採掘される石材。柔らかく加工しやすい。熱が伝わりにくく、耐火材として蔵などに使用されてきた。
カ	ガスカートバッキン	気体や液体の漏れを防ぐための、接合と緩衝の機能を持った部材。
	ジョイナー	接続部材。石膏ボードやサイディングを張りつぐときに、繋ぎ部分に入れる金属やプラスチックの部材。
	スタッド/スバイラル筋	スタッドボルト（植え込みボルト）のこと。ノせん状に巻かれた鉄筋。耐震壁と梁を強固に結合するための補助部材。
	スラブ	平面の荷重を支える鉄筋コンクリート製の板状の盤（床）。
	スレート	泥岩や頁岩が圧密作用により薄い板状になったもの。屋根を葺くのに使われるほか、内・外装材としても使用される。鉄平石が有名。
タ	トップライト	屋根面に付けた窓のこと。天窗とも言う。
	ドミノ・システム	鉄筋コンクリート造の水平スラブと周囲でそれを支える最小限の柱、各階をつなぐ昇降装置を構成要素とした住宅の建設方法で、ル・コルビュジエの設計手法の基礎をなしている。
ハ	ブレース	建築物の変形を防ぐために、柱と桁や梁に斜めに掛け渡す構造部材。筋交（すじかい）。
	平面トラス/立体トラス	建築や橋などを支える構造形式のひとつで、部材の結節点をピン接合とし、三角形を基本にして組んだ構造。トラスを組み合わせて立体化したものを立体トラスという。
マ	無収縮モルタル	硬化時に収縮しないモルタル。耐震壁の上端に使用して、隙間の発生を防止する。
ラ	ラス網	壁や天井などの平滑面に、モルタルなどの左官材を付着させるための金属網。
	ルーバー	羽板（はいた）と呼ばれる細長い板を、間隔をあけて平行に組んだもの。